

(様式第9)

香大医患第0032号
平成21年10月5日

厚生労働大臣 殿

国立大学法人香川大学長
一 井 眞 比



香川大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成20年度の業務に関して報告します。

言 己

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

| | |
|--------|-----|
| 研修医の人数 | 65人 |
|--------|-----|

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業員の員数

| 職 種 | 常 勤 | 非常勤 | 合 計 | 職 種 | 員 数 | 職 種 | 員 数 | |
|-------|------|-------|--------|---------|-------|-------------|--------|-------|
| 医 師 | 197人 | 60.3人 | 257.3人 | 看護業務補助者 | 0人 | 診療エックス線技師 | 0人 | |
| 歯科医師 | 4人 | 1.6人 | 5.6人 | 理学療法士 | 8.0人 | 臨床 検査 | 臨床検査技師 | 25.0人 |
| 薬 剤 師 | 27人 | 3.0人 | 30.0人 | 作業療法士 | 4.0人 | | 衛生検査技師 | 0人 |
| 保 健 師 | 0人 | 1.0人 | 1.0人 | 視能訓練士 | 3.0人 | | そ の 他 | 0人 |
| 助 産 師 | 25人 | 0.7人 | 25.7人 | 義肢装具士 | 0人 | あん摩マッサージ指圧師 | 0人 | |
| 看 護 師 | 405人 | 39.5人 | 444.5人 | 臨床工学技士 | 6.0人 | 医療社会事業従事者 | 2.0人 | |
| 准看護師 | 0人 | 0人 | 0人 | 栄 養 士 | 0人 | その他の技術員 | 4.0人 | |
| 歯科衛生士 | 1.0人 | 0人 | 1.0人 | 歯科技工士 | 1.0人 | 事務職員 | 108.0人 | |
| 管理栄養士 | 5.0人 | 1.0人 | 6.0人 | 診療放射線技師 | 26.0人 | その他の職員 | 21.0人 | |

8 入院患者、外来患者及び調剤の数
 歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

| | 歯科等以外 | 歯科等 | 合計 |
|--------------|--------|-------|--------|
| 1日当たり平均入院患者数 | 477.4人 | 6.0人 | 483.4人 |
| 1日当たり平均外来患者数 | 896.9人 | 32.5人 | 929.4人 |
| 1日当たり平均調剤数 | 577.6剤 | | |

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の承認の有無及び取扱い患者数

| 高度先進医療の種類(医科) | 承認 | 取扱い患者数 |
|--|----------------------------|--------|
| 高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 凍結保存同種組織を用いた外科治療(心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 顎関節症の補綴学的治療(顎関節症(顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。))に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法(神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 人工括約筋を用いた尿失禁の治療 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 光学印象採得による陶材歯冠修復法(歯冠部齲蝕の修復に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定(白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| CTガイド下気管支鏡検査(肺腫瘍に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンビン欠乏症、第VII因子欠乏症、先天性アンチトロンビンIII欠乏症、先天性ヘパリンコファクターII欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋、顔面又は頭部の変形性疾患に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断(子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 腹腔鏡下肝部分切除術(肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 悪性腫瘍に対する陽子線治療(固形がんに係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| エキシマレーザーによる治療的角膜切除術(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 成長障害のDNA診断(特発性低身長症に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術(内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |

(様式第10)

| | | |
|---|--------------------------------------|----|
| 乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術(主に乳房温存手術が可能なステージI又はIIの乳がんに係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 声帯内自家側頭筋膜移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はパージャー病(従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類III度又は同分類IV度のものに限る。))に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| ミトコンドリア病のDNA診断(高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 鏡視下肩峰下腔徐圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 神経変性疾患のDNA診断(ハンチントン舞蹈病、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜瘢痕、瞼球癒着(スティーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷瘢痕その他の重症の瘢痕性角結膜疾患を含む。)、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 重粒子線治療(固形がんに係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 31P—磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 神経芽腫のRNA診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性のものに限る。))に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 重症BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 脾腫瘍に対する腹腔鏡補助下脾切除術(インスリーノーマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、脾管内腫瘍その他の脾良性腫瘍に係る脾体尾部切除又は核出術に限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マントル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析 | <input checked="" type="radio"/> 有・無 | 8人 |
| Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| エキシマレーザー冠動脈形成術(経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。))による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 家族性アルツハイマー病の遺伝子診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードVの高度逆流症を除く。))に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |

(様式第10)

| | | |
|---|-----|----|
| HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植(HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。) | 有・無 | 0人 |
| 頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術(頸椎椎間板ヘルニア(画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性のもの(後縦靭帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。))に係るものに限る。) | 有・無 | 0人 |
| ケラチン病の遺伝子診断(水疱型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水疱症その他の遺伝子異常に係るものに限る。) | 有・無 | 0人 |
| 隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断 | 有・無 | 0人 |
| 末梢血幹細胞による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はパージャージャー病(重篤な虚血性心疾患又は脳血管障害を有するものを除く。))に係るものに限る。) | 有・無 | 0人 |
| 末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はパージャージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。) | 有・無 | 0人 |
| 一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術(双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例(妊娠十六週から二十六週に限る。))に係るものに限る。) | 有・無 | 0人 |
| カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法(肺がん又は気管支前がん病変に係るものに限る。) | 有・無 | 0人 |
| 先天性銅代謝異常症の遺伝子診断(ウィルソン病、メンケス病又はオクスピタルホーン症候群に係るものに限る。) | 有・無 | 0人 |
| 超音波骨折治療法(四肢の骨折(治療のために手術中に行われるものを除く。))のうち、観血的手術を実施したもの(開放骨折又は粉碎骨折に係るものを除く。))に係るものに限る。) | 有・無 | 0人 |
| CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテララメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法(ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。) | 有・無 | 0人 |
| 非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存(骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性(欠損性又は感染性偽関節に係るものに限る。)、骨腫瘍切除後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時(初回又は再置換術時に限る。))の広範囲骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靭帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。) | 有・無 | 0人 |
| X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術(難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないもの)に係るものに限る。) | 有・無 | 0人 |
| 定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価(骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍掻爬術後若しくは骨髄炎掻爬術後の症状に係るものに限る。) | 有・無 | 0人 |
| 膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るものに限る。) | 有・無 | 4人 |
| 色素性乾皮症に係る遺伝子診断 | 有・無 | 0人 |
| 先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断 | 有・無 | 0人 |
| 歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法(歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るものに限る。) | 有・無 | 0人 |
| セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術(人工股関節のたるみに係るものに限る。) | 有・無 | 0人 |
| 腹腔鏡下直腸固定術(直腸脱に係るものに限る。) | 有・無 | 0人 |
| 骨移動術による関節温存型再建(骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るものに限る。) | 有・無 | 0人 |
| 肝切除手術における画像支援ナビゲーション(原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るものに限る。) | 有・無 | 0人 |
| 樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍(食道がん、胃がん又は大腸がん)、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がんに係るものに限る。) | 有・無 | 0人 |

(様式第10)

| | | |
|---|---------------------------------------|----|
| 自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| リアルタイムPCRを用いた迅速診断(EBウイルス感染症に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍(精巣がんから転移したのものに限る。))又は骨盤リンパ節腫瘍(泌尿器がんから転移したのものに限る。))に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(白内障に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 先天性難聴の遺伝子診断(遺伝性による先天性難聴が疑われるものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| フェニルケトン尿症の遺伝子診断(フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はビオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))が疑われる小児に係るものであって、酵素補充療法による治療が出来ないものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類Ib期までの子宮体がんに係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断 | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| RET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。))に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経(ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。))であって、子宮壁厚3ミリメートル以上の症例に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGFR陽性の治癒切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助(ICD-10(統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件(平成二十一年総務省告示第百七十六号)の「(1) 疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。))においてF2(統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害)に分類される疾病及びF3(気分(感情)障害)に分類される疾病のいずれかの疾病の患者であることが強く疑われるうつ症状の者(器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。))に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術(下肢慢性静脈不全症(下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴(小臼歯の重度の齲蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(早期大腸がん(EMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。))又は腺腫(EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。))に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |

(様式第10)

| | | |
|--|---------------------------------------|----|
| 内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断 | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術(転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは臼蓋骨折に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索 | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| カフェイン併用化学療法(骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 胎児尿路・羊水腔シャント術(プルーン・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(胸部悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。))に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症(NIHIF)例であって、胸腔穿刺後一週間に降に胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。))に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索 | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 腹腔鏡補助下肝切除術(部分切除及び外側区域切除を除く。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(前立腺がんに係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 眼底三次元画像解析 | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |

(注) 1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

(様式第10)

2特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

| 疾病名 | 取扱い患者数 | 疾病名 | 取扱い患者数 |
|------------------|--------|---------------------------|--------|
| ・ベーチェット病 | 30人 | ・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症) | 14人 |
| ・多発性硬化症 | 50人 | ・ウエゲナー肉芽腫症 | 6人 |
| ・重症筋無力症 | 50人 | ・特発性拡張型(うっ血型)心筋症 | 17人 |
| ・全身性エリテマトーデス | 102人 | ・多系統萎縮症 | 20人 |
| ・スモン | 4人 | ・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型) | 2人 |
| ・再生不良性貧血 | 24人 | ・濃疱性乾癬 | 7人 |
| ・サルコイドーシス | 20人 | ・広範脊柱管狭窄症 | 1人 |
| ・筋萎縮性側索硬化症 | 12人 | ・原発性胆汁性肝硬変 | 37人 |
| ・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎 | 106人 | ・重症急性膵炎 | 4人 |
| ・特発性血小板減少性紫斑病 | 51人 | ・特発性大腿骨頭壊死症 | 16人 |
| ・結節性動脈周囲炎 | 24人 | ・混合性結合組織病 | 17人 |
| ・潰瘍性大腸炎 | 48人 | ・原発性免疫不全症候群 | 1人 |
| ・大動脈炎症候群 | 15人 | ・特発性間質性肺炎 | 2人 |
| ・ピュルガー病 | 6人 | ・網膜色素変性症 | 16人 |
| ・天疱瘡 | 10人 | ・プリオン病 | 1人 |
| ・脊髄小脳変性症 | 31人 | ・原発性肺高血圧症 | 4人 |
| ・クローン病 | 30人 | ・神経繊維腫症 | 4人 |
| ・難治性の肝炎のうち劇症肝炎 | 30人 | ・亜急性硬化性全脳炎 | 1人 |
| ・悪性関節リウマチ | 3人 | ・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群 | 1人 |
| ・パーキンソン病関連疾患 | 18人 | ・特発性慢性肺血栓塞栓症(肺高血圧型) | 2人 |
| ・アミロイドーシス | 1人 | ・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病含む) | 3人 |
| ・後縦靭帯骨化症 | 21人 | ・副腎白質ジストロフィー | 1人 |
| ・ハンチントン病 | 2人 | | |

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3病院・臨床検査部門の概要

| | | |
|-------------------------------------|--|----------|
| 臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況 | ①臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ②臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。 | |
| 臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度 | 一年間に約100回程度 | |
| 剖検の状況 | 剖検症例数 19例 | 剖検率 7.7% |

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額 (千円) | 補助元又は委託元 |
|---|--------|-------------------|------------|-------------------------|
| インスリン遺伝子発現機序の解明と新たな膵β細胞の再生 | 石田 俊彦 | 内分泌代謝・血液・免疫・呼吸器内科 | 2,200 | 補 委 文部科学省科学研究費補助金 |
| 動脈硬化症におけるHDL受容体CLA-1の役割と臨床応用 | 井町 仁美 | 内分泌代謝・血液・免疫・呼吸器内科 | 900 | 補 委 文部科学省科学研究費補助金 |
| 副腎ホルモン産生異常に関する調査研究 | 村尾 孝児 | 内分泌代謝・血液・免疫・呼吸器内科 | 500 | 補 委 厚生労働科学研究費補助金 |
| 中枢神経系におけるアンギオテンシンIIの制御機能とその影響の検討 | 細見 直永 | 循環器・腎臓・脳卒中内科 | 1,000 | 補 委 文部科学省科学研究費補助金 |
| 抗凝固薬・抗血小板薬の標的およびこれら薬剤を修飾するタンパク質・遺伝子の解析 | 細見 直永 | 循環器・腎臓・脳卒中内科 | 500 | 補 委 厚生労働科学研究費補助金 |
| 酸化ストレス産生に伴う腎障害に関与する白血球NAD(P)Hオキシダーゼの役割 | 清元 秀泰 | 循環器・腎臓・脳卒中内科 | 700 | 補 委 文部科学省科学研究費補助金 |
| 肝癌に対する複合的免疫遺伝子治療：樹状細胞機能増強による免疫監視システム再構築 | 出口 章広 | 消化器・神経内科 | 6,100 | 補 委 文部科学省科学研究費補助金 |
| 肝細胞癌におけるマイクロRNAの網羅的解析及び癌特異的マイクロRNAの機能解析 | 正木 勉 | 消化器・神経内科 | 2,900 | 補 委 文部科学省科学研究費補助金 |
| ロリクリン角皮症の病態解明 (RNA干渉法を用いて) | 米田 耕造 | 皮膚科 | 500 | 補 委 文部科学省科学研究費補助金 |
| 表皮角化細胞の増殖と血管内皮細胞増殖因子産生に及ぼす各種活性酸素の影響 | 中井 浩三 | 皮膚科 | 800 | 補 委 文部科学省科学研究費補助金 |
| DNA損傷に対するオリゴデンドロサイトの脆弱性—老化と認知症との関連について— | 中村 祐 | 精神科神経科 | 2,000 | 補 委 文部科学省科学研究費補助金 |
| 近赤外光による脳内血液量の周期的変動を指標とした未熟児・新生児の脳機能評価 | 黒見 徹郎 | 小児科 | 2,500 | 補 委 文部科学省科学研究費補助金 |
| 小児等の特殊患者に対する医薬品の製剤改良その他有効性及び安全性の確保のあり方 | 伊藤 進 | 小児科 | 26,000 | 補 委 厚生労働科学研究費補助金 |
| 静注用フェバールビタールの新生児けいれんに対する有効性・安全性に関する研究 | 伊藤 進 | 小児科 | 9,823 | 補 委 厚生労働科学研究費補助金 |
| 光時間分解分光法による新生児脳の光学的特性と脳内酸素飽和度、血液量の発達的变化 | 伊地知 園子 | 小児科 | 900 | 補 委 文部科学省科学研究費補助金 |
| 小腸不全症に対する治療法の開発—無粘膜大腸作成の可能性についての基礎的研究— | 野田 卓男 | 小児成育外科 | 1,000 | 補 委 文部科学省科学研究費補助金 |
| 肝虚血再灌流障害におけるTLR4を介したシグナルとフィードバック機構の解明 | 出石 邦彦 | 消化器外科 | 1,600 | 補 委 文部科学省科学研究費補助金 |

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額 (千円) | 補助元又は委託元 |
|--|--------|-----------------|------------|-------------------------|
| 肺癌のプログレッションを包括的に抑制するWntとTM4SFのカクテル癌遺伝子治療 | 黄 政龍 | 呼吸器・乳腺 内分泌外科 | 4,500 | 補 委 文部科学省科学研究費補助金 |
| K-ras系シグナルの抑制を目指したlet-7誘導ベクターによる癌遺伝子治療 | 石川 真也 | 呼吸器・乳腺 内分泌外科 | 1,700 | 補 委 文部科学省科学研究費補助金 |
| 非小細胞癌における包括的オーダーメイド化学治療 | 劉 大革 | 呼吸器・乳腺 内分泌外科 | 1,700 | 補 委 文部科学省科学研究費補助金 |
| 赤外光胸腔鏡による微小肺癌の空間的・質的診断の臨床研究 | 横見瀬 裕保 | 呼吸器・乳腺 内分泌外科 | 1,300 | 補 委 文部科学省科学研究費補助金 |
| 自己組織再生による臍胸の新しい治療法の研究 | 横見瀬 裕保 | 呼吸器・乳腺 内分泌外科 | 2,000 | 補 委 文部科学省科学研究費補助金 |
| 精液中の生理活性脂質リゾホスファチジン酸を起点とした前立腺癌発症機構の解明 | 寛 善行 | 泌尿器・副腎・腎移植外科 | 3,300 | 補 委 文部科学省科学研究費補助金 |
| ヒト腎癌に対する共刺激分子発現増強を介した化学免疫療法の新展開 | 呉 秀賢 | 泌尿器・副腎・腎移植外科 | 900 | 補 委 文部科学省科学研究費補助金 |
| 前立腺肥大症の症状発現に主導的役割を演ずる炎症関連分子の解析 | 田岡 利宜也 | 泌尿器・副腎・腎移植外科 | 1,000 | 補 委 文部科学省科学研究費補助金 |
| 早期前立腺がんにおける根治術後の再発に対する標準的治療法の確立に関する研究 | 寛 善行 | 泌尿器・副腎・腎移植外科 | 1,000 | 補 委 厚生労働科学研究費補助金 |
| ES細胞を用いた悪性脳腫瘍に対する遺伝子・細胞治療の研究 | 田宮 隆 | 脳神経外科 | 3,800 | 補 委 文部科学省科学研究費補助金 |
| 神経保護効果を有する硝子体手術用灌流液の開発 | 白神 史雄 | 眼科 | 500 | 補 委 文部科学省科学研究費補助金 |
| 網膜脈絡膜・視神経萎縮症に関する調査研究 | 白神 史雄 | 眼科 | 2,000 | 補 委 厚生労働科学研究費補助金 |
| 頭頸部扁平上皮癌におけるCOX-2発現と発癌におけるPGE2合成経路の関与 | 後藤 理恵子 | 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 | 1,000 | 補 委 文部科学省科学研究費補助金 |
| 内リンパ嚢におけるイオン輸送の制御因子および制御能 | 宮下 武憲 | 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 | 2,000 | 補 委 文部科学省科学研究費補助金 |
| 膠原病症例におけるF-18 FDG PET検査の有用性の検討 | 西山 佳宏 | 放射線科 | 1,500 | 補 委 文部科学省科学研究費補助金 |
| 肺癌におけるF-18 FLT PETを用いた分子イメージングの研究 | 山本 由佳 | 放射線科 | 1,500 | 補 委 文部科学省科学研究費補助金 |
| 吸入麻酔薬による新生児期の全身麻酔の安全性の再評価 | 植木 正明 | 麻酔・ペインクリニック科 | 600 | 補 委 文部科学省科学研究費補助金 |

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額 (千円) | 補助元又は委託元 |
|--|--------|---------------|------------|-------------------------|
| in vivo ESR Oximetryにおける新しい酸素感受性プローブ | 三宅 実 | 歯・顎・口腔外科 | 1,200 | 補 委 文部科学省科学研究費補助金 |
| 心不全における酸化ストレスの関与の検討 | 四宮 かおり | 検査部 | 2,000 | 補 委 文部科学省科学研究費補助金 |
| 自動血球分析装置による破碎赤血球定量の有用性 | 荒井 健 | 検査部 | 640 | 補 委 文部科学省科学研究費補助金 |
| 未熟児・新生児期における脳酸素代謝量の発達的变化に関する研究 | 日下 隆 | 総合周産期母子医療センター | 200 | 補 委 文部科学省科学研究費補助金 |
| 胃瘻からの半固形短時間摂取法は患者のQOLを改善する | 合田 文則 | 総合診療部 | 2,300 | 補 委 文部科学省科学研究費補助金 |
| ユビキチリンガーゼCblによる白血病細胞増殖シグナル調節機構の解明と治療への応用 | 窪田 良次 | 輸血部 | 900 | 補 委 文部科学省科学研究費補助金 |
| ニューロプロテオミクスによる重症脳障害の病態解析と脳蘇生法の開発に関する研究 | 黒田 泰弘 | 救命救急センター | 2,000 | 補 委 文部科学省科学研究費補助金 |
| 電子認証・電子署名 (HPKI) を用いた大規模治験ネットワークシステムの開発 | 原 量宏 | 医療情報部 | 2,300 | 補 委 文部科学省科学研究費補助金 |
| 国際化を踏まえた医薬品・医療機器の安全性情報の伝達に関する研究 | 横井 英人 | 医療情報部 | 800 | 補 委 厚生労働省科学研究費補助金 |
| 医療機器の国際的な動向を踏まえた品質、有効性及び安全性に関する研究 | 原 量宏 | 医療情報部 | 700 | 補 委 厚生労働省科学研究費補助金 |
| 医療機器の国際的な動向を踏まえた品質、有効性及び安全性の評価に関する研究 | 横井 英人 | 医療情報部 | 1,200 | 補 委 厚生労働省科学研究費補助金 |

3ページ
計11件

計 104,463 千円 合計45件

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 発表年月 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--|---|-------|-------------------|
| Experimental Hematology 平成20年4月 | The Role of Calcium/Calmodulin-Dependent Protein Kinase Cascade on MIP-1 α Gene Expression of ATL Cells | 村尾孝児 | 内分泌代謝・血液・免疫・呼吸器内科 |
| GUT 平成20年5月 | Interferon- α decreases expression of human scavenger receptor class BI, possible HCV receptor in hepatocytes | 村尾孝児 | 内分泌代謝・血液・免疫・呼吸器内科 |
| Fertil Steril 平成20年11月 | Isolated follicle-stimulating hormone (FSH) deficiency without mutation of the FSH β gene and successful treatment with human menopausal gonadotropin | 村尾孝児 | 内分泌代謝・血液・免疫・呼吸器内科 |
| J Cell Mol Med 平成20年8月 | PREB regulates transcription of pancreatic glucokinase in response to glucose and cAMP | 村岡都美江 | 内分泌代謝・血液・免疫・呼吸器内科 |
| Endocrinology 平成20年12月 | The transcriptional factor prolactin regulatory element-binding protein mediates the gene transcription of adrenal scavenger receptor class BI via cAMP | 村尾孝児 | 内分泌代謝・血液・免疫・呼吸器内科 |
| Biochem Biophys Res Commun 平成20年11月 | The prolactin regulatory element-binding regulates the of 11 β -hydroxylase gene | 井町仁美 | 内分泌代謝・血液・免疫・呼吸器内科 |
| Endocrin 平成21年2月 | A case of Dunnigan-type familial partial lipodystrophy (FPLD) due to lamin A/C (LMNA) mutations complicated by end-stage renal disease | 井町仁美 | 内分泌代謝・血液・免疫・呼吸器内科 |
| Endocrin 平成21年2月 | A case of non-Hodgkin's lymphoma primary arising in both adrenal glands associated with adrenal failure | 井町仁美 | 内分泌代謝・血液・免疫・呼吸器内科 |
| Endocrin 平成21年2月 | Improvement in renal dysfunction and symptoms after laparoscopic adrenalectomy in a patient with pheochromocytoma complicated by renal dysfunction | 藤原真子 | 内分泌代謝・血液・免疫・呼吸器内科 |
| Cardiovasc Res 平成21年2月 | Role of neuronal NO synthase in regulating vascular superoxide levels and mitogen-activated protein kinase phosphorylation | 村尾孝児 | 内分泌代謝・血液・免疫・呼吸器内科 |

1ページ
計10件

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 発表年月 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|------------------------------|---|-------|-------------------|
| J Cell Mol Med 平成21年3月 | PREB, prolactin regulatory element binding protein is involed in cAMP-mediated adiponectin gene expression in 3T3-L1 cells | 村尾孝児 | 内分泌代謝・血液・免疫・呼吸器内科 |
| Am J Med Sci 平成20年4月 | Positron emission tomography-positive squalene-induced lipoid pneumonia confirmed by gas chromatography-mass spectrometry of bronchoalveolar lavage fluid | 金地伸拓 | 内分泌代謝・血液・免疫・呼吸器内科 |
| Tumor Biol 平成20年 | Full-length cytokeratin 8 is released and circulates in patients with non-small cell lung cancer | 石井知也 | 内分泌代謝・血液・免疫・呼吸器内科 |
| Scand J Rheumatol 平成20年9月 | A case of Evans syndrome combined with systemic lupus erythematosus successfully treated with rituximab | 橋高克治 | 内分泌代謝・血液・免疫・呼吸器内科 |
| Mod Rheumatol 平成20年4月 | A case of rheumatoid arthritis complicated by demyelination in both cerebral cortex and spinal cord during etanercept therapy | 亀田智広 | 内分泌代謝・血液・免疫・呼吸器内科 |
| Int J Hematol 平成20年7月 | Visual disturbance comorbid with hallucination caused by voriconazole in the Japanese population | 今滝 修 | 内分泌代謝・血液・免疫・呼吸器内科 |
| Am J Hematol 平成20年6月 | Isolated extramedullary relapse presenting as autologous lymphocyte response | 今滝 修 | 内分泌代謝・血液・免疫・呼吸器内科 |
| Transplantation 成20年10月 | Pulmonary extramedullary haematopoiesis after allogeneic stem-cell transplantation | 今滝 修 | 内分泌代謝・血液・免疫・呼吸器内科 |
| Int J Hematol 平成21年2月頃 | Marked increase of normal blast morphologically mimicking leukemic clone in acute lymphoblastic leukemia patient following G-CSF therapy | 今滝 修 | 内分泌代謝・血液・免疫・呼吸器内科 |
| Hematol Oncol 平成21年2月頃 | Intravascular large B-cell lymphoma with FDG accumulation in the lung lacking CT/(67)gallium scintigraphy abnormality | 北中 明 | 内分泌代謝・血液・免疫・呼吸器内科 |

2ページ
計10件

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 発表年月 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--|---|--------------|-----------------|
| World J Gastroenterol 平成20年4月 | A combination therapy of ethanol injection and radiofrequency ablation under general anesthesia for the treatment of hepatocellular carcinoma | Kurokohchi K | 消化器・神経内科 |
| J Gastroenterol Hepatol 平成20年10月 | How many cytological examinations should be performed for the diagnosis of malignant biliary stricture via an endoscopic nasobiliary drainage tube? | Uchida N | 消化器・神経内科 |
| J Gastroenterol 平成20年5月 | Esophageal function worsens with long duration of diabetes. | Kinekawa F | 消化器・神経内科 |
| Int J Oncol 平成20年12月 | Annexin A2 expression and phosphorylation are up-regulated in hepatocellular carcinoma | Mohammad SH | 消化器・神経内科 |
| Dig Dis Sci 平成21年2月 | Clinical Characteristics of Patients with Hepatitis C Virus-Related Chronic Liver Disease Seropositive for Anticentromere Antibody | Himoto T | 総合診療部(消化器・神経内科) |
| Progress in Neuro-Psychopharmacology and Biological Psychiatry 平成20年4月 | Effect of Yi-Gan San on psychiatric symptoms and sleep structure at patients with behavioral and psychological symptoms of dementia | H. Shinno | 精神神経医学 |
| Progress in Neuro-Psychopharmacology and Biological Psychiatry 平成20年10月 | Successful treatment with Yi-Gan San for rapid eye movement sleep behavior disorder | H. Shinno | 精神神経医学 |
| General Hospital Psychiatry 平成21年3月 | Successful treatment with levothyroxine for idiopathic hypersomnia patients with subclinical hypothyroidism | H. Shinno | 精神神経医学 |
| Neuroscience Letters 平成20年9月 | Extrauterine environment affects the cortical responses to verbal stimulation in preterm infants | Nishida T | 小児科 |
| 日本小児科学会雑誌 平成20年10月 | 小児オフラベル薬使用と治験の推進 | 伊藤 進 | 小児科学 |

3ページ
計10件

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 発表年月 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|---|--|----------------|---------------|
| Pediatric Research 平成21年3月 | Relationship between cerebral oxygenation and phosphorylation potential during secondary energy failure in hypoxic-ischemic newborn piglets | Kusaka Takashi | 総合周産期母子医療センター |
| 日本小児臨床薬理学会雑誌 平成21年3月 | 添付文書への予防薬記載について(ビタミンK ₂ シロップ,ケイツーN静注) | 中村 信嗣 | 小児科 |
| J Clin Ultrasound 平成20年5月 | Four-dimensional sonography with B-flow and spatiotemporal image correlation for visualization of the fetal heart. | T. Hata | 周産期学婦人科学 |
| J Obstet Gynecol Res 平成20年6月 | Does three-dimensional power Doppler ultrasound improve the diagnostic accuracy for the prediction of ednexal malignancy? | T.Hata | 周産期学婦人科学 |
| J Med Ultrasonics 平成20年8月 | Three-dimensional sonographic features of a fetus with Wolf-Hirschhorn syndrome. | T.Hata | 周産期学婦人科学 |
| J Obstet Gynecol Res 平成20年8月 | Real-time three-dimensional color Doppler fetal echocardiographic features of congenital heart disease. | T. Hata | 周産期学婦人科学 |
| J Clin Ultrasound 平成20年11月 | 3D and 4D sonographic imaging of amniotic band syndrome in early pregnancy. | E. Inubashiri | 周産期学婦人科学 |
| J Obstet Gynecol Res 平成21年2月 | Positron emission tomography with the glucose analog [¹⁸ F]-fluoro-2-deoxy-D-glucose for evaluating pelvic lymph node metastasis in uterine corpus cancer: Comparison with CT and MRI findings | E. Inubashiri | 周産期学婦人科学 |
| J Hepatobiliary Pancreat Surg 15(4), 353-358, 2008年4月 | A simple and safe pancreas transection using a stapling device for a distal pancreatectomy. | Okano K | 消化器外科 |
| Journal of Experimental & Clinical Cancer Research 27, 76, 2008年11月 | Modulating effect of the PI3-kinase inhibitor LY294002 on cisplatin in human pancreatic cancer cells. | Fujiwara M | 消化器外科 |

4ページ
計10件

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 発表年月 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--|--|---------------|-----------------|
| Ann Surg Oncol 16(2), 395-403, 2009年2月 | Immunohistochemically detected expression of p27(Kip1) and Skp2 predicts survival in patients with intrahepatic cholangiocarcinomas. | Hashimoto N | 消化器外科 |
| Liver International, 28(5), 717-718, 2008 5月号 | Clinicopathological comparison between intrahepatic cholangiocarcinoma arising in livers positive and negative for hepatitis B or C virus. | Wakabayashi H | 消化器外科 |
| Hepato-Gastroenterology 55(86-87), 1882-1886, 2008 | The discrepancy in thymidylate synthase and dihydropyrimidine dehydrogenase expression depending on measurement methodologies in stage 4 gastric cancer. | Akamoto S | 消化器外科 |
| Cancer Science 99(11), 2152-2159, 2008 11月号 | p27(Kip1) is overexpressed in very early stages of hepatocarcinogenesis. | Yachida S | 消化器外科 |
| Eur J Cancer 平成20年5月 | The clinical significance of lymphangiogenesis and angiogenesis in non-small cell lung cancer patients. | Kadota K | 呼吸器・乳腺内 分泌外科 |
| Eur J Cancer 平成20年11月 | Wnt1 overexpression promotes tumour progression in non-small cell lung cancer. | Huang CL | 呼吸器・乳腺内 分泌外科 |
| ASAIO J 平成20年11/12月 | Reconstruction of emphysematous lung tissue using slowly released basic fibroblast growth factor from gelatin microspheres. | Mori N | 呼吸器・乳腺内 分泌外科 |
| Cell adhesion & migration 平成21年1月 | Glial and axonal regeneration following spinal cord injury. | Shibuya S | 整形外科 |
| Rheumatology international 平成21年2月 | Ischiogluteal bursitis: a report of three cases with MR findings. | Hitora T | 整形外科 |
| 中部日本整形外科災害外 科学会雑誌 平成21年3月 | 高IgE症候群に伴う多発皮下膿瘍の1例 | 岩部昌子 | 整形外科 |

5ページ
計10件

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 発表年月 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|---|--|--------|------|
| 日本マイクロサージャリー 学会会誌 平成21年3月 | レシピエントの生体内での血管柄付き同種移植 骨作製の試み 移植骨に対するBMP、ビスフォ スフォネートの骨形成促進、骨吸収抑制効果 | 加地良雄 | 整形外科 |
| 膝 平成21年3月 | 人工膝関節置換術におけるドレーンクランプ法 の有用性および回収式自己血輸血法との比較 | 千頭憲一郎 | 整形外科 |
| 日本手の外科学会雑誌 平成20年11月 | 知覚評価が軽症な手根管症候群に対する振動 覚閾値検査の有用性 | 加地良雄 | 整形外科 |
| 西日本脊椎研究会誌 平成20年6月 | 化膿性脊椎炎に対する経皮的椎間板搔爬術と 持続洗浄の治療成績(| 小松原悟史 | 整形外科 |
| Hip Joint 平成20年11月 | 大腿骨外反骨切り術後のTHA | 岩田憲 | 整形外科 |
| 西日本泌尿器科 平成20年5月 | 泌尿器科癌に対する集学的治療 腎細胞癌の 骨・軟部組織転移巣に対するMDR克服併用動 注化学療法の実験 | 常森 寛行 | 泌尿器科 |
| 西日本泌尿器科 平成20年8月 | 前立腺癌治療の医療評価としてのQOL解析. | 杉元 幹史 | 泌尿器科 |
| 泌尿器科紀要 平成20年11月 | 前立腺全摘除術前後の排尿機能の変化: 高齢 女性との比較を交えて | 田岡 利宣也 | 泌尿器科 |
| Urology. 2009 Jan;73(1):193-9. Epub 2008 Aug 9. | Induction of apoptosis in human renal cell carcinoma cells by vitamin E succinate in caspase-independent manner. | Wu XX | 泌尿器科 |
| Prostate. 2009 Feb 15;69(3):283-92. | Gene expression profiles of lysophosphatidic acid-related molecules in the prostate: relevance to prostate cancer and benign hyperplasia. | Zeng Y | 泌尿器科 |

6ページ
計10件

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 発表年月 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|---|---|-------------|--------|
| Urology. 2009 Feb;73(2):410-4. Epub 2008 Oct 17. | Influence of inflammation and aging on macrophage inhibitory cytokine-1 gene expression in rat ventral prostate. | Taniguchi S | 泌尿器科 |
| Int J Urol. 2008 Jun;15(6):524-8. Epub 2008 Apr 15. | Neural related quality of life in Japanese men with localized prostate cancer: assessment with the SF-8. | Sugimoto M | 泌尿器科 |
| J Stroke and cerebrovasc Dis 平成20年7月 | Effect of delay mild brain hypothermia on edema formation after intracerebral hemorrhage in rats | 川西 正彦 | 脳神経外科学 |
| Surg Neurol 平成20年10月 | Targeting optimal biopsy location in basal ganglia germinoma using C-methionine positron emission tomography | 河井 信行 | 脳神経外科学 |
| Jornal of Neuroscience Research 平成21年2月 | Evaluation of Human Fetal Neural stem/progenitor Cells as a Source for Cell Replacement Therapy for Neurological Disorders:Properties and Tumorigenicity After Long-Term In Vitro Maintenance | 小川 大輔 | 脳神経外科 |
| 脳神経外科ジャーナル 平成20年5月 | 小脳腫瘍(脳腫瘍の画像と病理) | 岡田 真樹 | 脳神経外科 |
| CI研究 平成20年8月 | PET検査により腫瘍再発と放射線壊死の鑑別 は可能か? | 河井 信行 | 脳神経外科学 |
| 脳神経外科 平成20年10月 | 脳腫瘍におけるメチオニンPET(総説) | 河井 信行 | 脳神経外科学 |
| Pharma Medica 平成20年6月 | 低体温療法と酸化ストレス | 中村 丈洋 | 脳神経外科学 |
| 脳循環代謝 平成20年8月 | 実験的脳出血における蛋白分解酵素阻害薬の 脳保護効果 | 中村 丈洋 | 脳神経外科学 |

7ページ
計10件

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 発表年月 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--------------------------------------|---|--------------|------|
| Am J Ophthalmol 平成20年6月 | Combined Intravitreal Bevacizumab and Photodynamic Therapy for Retinal Angiomatous Proliferation. | C. Shiragami | 眼科 |
| Jpn J Ophthalmol 平成20年4月 | Photodynamic Therapy with Verteporfin in Japanese Patients with Subfoveal CNV Secondary to AMD: Results of the Japanese AMD Trial (JAT) Extension | F. Shiraga | 眼科 |
| Invest Ophthalmol Vis Sci 平成21年3月 | Pharmacokinetics of Bevacizumab After Topical, Subconjunctival and Intravitreal Administration In Rabbits. | H. Nomoto | 眼科 |
| Retina 平成20年6月 | Macular hole surgery with triamcinolone acetonide-assisted internal limiting membrane peeling. One-year results. | H. Nomoto | 眼科 |
| Can J Ophthalmol 平成20年6月 | Plateau Iris Syndrome Associated with Multiple Ciliary Body Cysts with Nocturnal Elevation of Intraocular Pressure. | T.Baba | 眼科 |
| Am J Ophthalmol 平成20年4月 | Intraocular Pressure Elevation after Injection of Triamcinolone Acetonide: A Multicenter Retrospective Case-Control Study. | K. Hirooka | 眼科 |
| あたらしい眼科 平成20年7月 | 線維柱帯切開術が奏効した太田母斑に伴った遅発型発達緑内障の1例. | 広岡一行 | 眼科 |
| 臨床眼科 平成21年3月 | 寄生虫性網膜嚢胞症に対し硝子体手術を施行した1例 | 山地英孝 | 眼科 |
| Acta Ophthalmol 平成20年9月 | Correlation between Retinal Nerve Fiber Layer Thickness and Retinal Sensitivity | K. Hirooka | 眼科 |
| Curr Eye Res 平成20年9月 | Both Amacrine and Bipolar Cells Release Glutamate in the Rat Retina After Ischemia/Reperfusion Insult in vitro | F.shiraga | 眼科 |

8ページ
計10件

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 発表年月 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--|--|-------------------|-------------|
| Brain Research 平成20年8月 | 3CB2, a marker of radial glia, expression after experimental intracerebral hemorrhage: role of thrombin. | F.shiraga | 眼科 |
| Jpn J ophthalmol 平成20年4月 | Photodynamic Therapy with Verteporfin in Japanese Patients with Subfoveal CNV Secondary to AMD: Results of the Japanese AMD Trial (JAT) Extension. | F.shiraga | 眼科 |
| Acta Ophthalmol 平成20年4月 | Risk factors for developing avascular filtering bleb after fornix based trabeculectomy with mitomycin C. | K. Hirooka | 眼科 |
| Oncology Reports 平成20年4月 | Clinicopathological significance of cyclooxygenase-2 expression in hypopharyngeal squamous cell carcinoma | Rieko Goto | 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 |
| Neurosurgery 平成20年7月 | Computed tomographic evaluation of anatomic relationship between the paranasal structures and orbital contents for endoscopic endonasal transthemoidal approach to the orbit | Masayuki Karaki | 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 |
| Int.J.Oncology 平成21年3月 | Expression of prostaglandin E2 receptors in oral squamous cell carcinomas and growth inhibitory effects of an EP3 selective antagonist,ONO-AE3-240 | Hiroshi Hoshikawa | 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 |
| Annals of Nuclear Medicine 平成20年5月 | Dual-time-point FDG-PET for evaluation of lymph node metastasis in patients with non-small-cell lung cancer | Y.Nishiyama | 放射線医学 |
| Journal of Computer Assisted Tomography 平成20年6月 | 3'-Deoxy-3'- ¹⁸ F-Fluorothymidine as a Proliferation Imaging Tracer for Diagnosis of Lung Tumors: Comparison With 2-Deoxy-2- ¹⁸ F-Fluoro-D-Glucose | Y.Yamamoto | 放射線科 |
| The Journal of Nuclear Medicine 平成20年8月 | Detection of Hepatocellular Carcinoma Using ¹¹ C-Choline PET: Comparison with ¹⁸ F-FDG PET | Y.Yamamoto | 放射線科 |
| Academy of Molecular Imaging 平成20年9月 | ¹¹ C-Acetate PET in the Evaluation of Brain Glioma: Comparison with ¹¹ C-Methionine and ¹⁸ F-FDG-PET | Y.Yamamoto | 放射線科 |

9ページ
計10件

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 発表年月 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|---|---|------------|-------------|
| Nuclear Medicine Communications 平成21年1月 | Dual time point FDG PET for evaluation of malignant pleural mesothelioma | Y.Yamamoto | 放射線科 |
| Japan Radiological Society 平成21 年2月 | Evaluation of subsegmental pulmonary arteries of the posterior and anterior segments of the right upper lobe using multidetector row computed tomography with multiplanar reconstruction images | M.Murota | 放射線医学 |
| European Journal of Nuclear Medicine and Molecular Imaging 平成 21年3月 | Detection of gastric cancer using ¹⁸ F-FLT PET:comparison with ¹⁸ F-FDG PET | R.Kameyama | 放射線科 |
| JOURNAL OF BIOSCIENCE AND BIOENGINEERING 2008 | JTE-607, An Inflammatory Cytokine Synthesis Inhibitor, Attenuates Ischemia /Reperfusion-Induced Renal Injury by Reducing Neutrophil Activation in Rats | 浅賀 健彦 | 集中治療部 |
| J Clin Neurosci 2009 | Hypoxia inducible factor-1 α has a key role in hypoxic preconditioning. | 田家 諭 | 麻酔学 |
| Journal of bioscience and bioengineering 2008 | D-allose protects against endotoxemic acute renal injury. | 植木 正明 | 麻酔学 |
| Tohoku Journal of Experimental Medicine 2008 | Atrial Natriuretic Peptide Attenuates Ischemia/Reperfusion-Induced Renal Injury by Reducing Neutrophil Activation in Rats. | 中條 浩介 | 麻酔・ペインクリニク科 |
| Transplantation 平成20年5月 | Pulmonary extramedullary haematopoiesis after allogeneic stem-cell transplantation. | Y. Kubota | 輸血部 |
| Bone Marrow Transplantation 平成20年10月 | Eosinophilic cystitis following cord blood transplantation: a form of acute GVHD. A variant of hemorrhagic cystitis after hematopoietic SCT or drug-induced? | Y. Kubota | 輸血部 |
| Hematological Oncology 平成21年3月 | Intravascular large B-cell lymphoma with FDG accumulation in the lung lacking CT/(67)gallium scintigraphy abnormality. | Y. Kubota | 輸血部 |

10ページ
計10件

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 発表年月 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--|--|-----------------|----------|
| YAKUGAKU ZASSHI 2008年 128巻 4号 平成20年4月 | 同種造血幹細胞移植患者における多剤耐性緑膿菌 | 芳地 一 | 薬剤部 |
| Journal of Infection and Chemotherapy 14(2) pp.110-116 平成20年4月 | Peritoneal pharmacokinetics of cefepime in laparotomy | 樋口 和子 | 薬剤部 |
| Journal of clinical pharmacy and therapeutics vol 33:pp 521-7 平成20年10月 | Recommended Dose of Arbekacin, an Aminoglycoside | 福岡 憲泰 | 薬剤部 |
| Therapeutic Drug Monitoring Volume 31 - Issue 1 - pp 57-62 平成21年2月 | Dose Adjustment of Phenytoin for Comedication | 福岡 憲泰 | 薬剤部 |
| 静脈経腸栄養 平成20年6月 | 胃瘻からの半固形化栄養剤をめぐる問題点とその解決法 | 合田文則 | 総合診療部 |
| 看護技術 平成20年8月 | 胃の運動機能からみた半固形栄養材短時間摂取法 | 合田文則 | 総合診療部 |
| Hypertens Res 平成20年8月 | A New Index of "Cardiac Age" Derived from Echocardiography: Influence of Hypertension and Comparison with Pulse Wave Velocity | 舩形 尚 | 総合診療部 |
| Clinical and Experimental Hypertension 平成20年10月 | Relationship of Cardiac Hypertrophy and Diastolic Dysfunction Assessed by Echocardiography with Atherosclerosis in Retinal Arteries in Hypertensive Patients | 舩形 尚 | 総合診療部 |
| Tohoku J. Exp. Med. 平成21年2月 | Tissue Doppler Echocardiography for Predicting Arterial Stiffness Assessed by Cardio-Ankle Vascular Index | 舩形 尚 | 総合診療部 |
| BMC Neurology 平成20年12月 | Plasma Brain Natriuretic Peptide as A Surrogate Marker for Cardioembolic Stroke | Kazushi Yukiiri | 救命救急センター |

11ページ
計10件

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 発表年月 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--------------------------------------|--|-------------------|----------|
| 地域救急災害医療研究 平成20年 | 香川県での脳卒中教育(ISLS/PSLS)コース開催と検討 第1報 -中国四国地方での初開催としての役割と今後- | 中村文洋 | 救命救急センター |
| 地域救急災害医療研究 平成20年 | 香川県での脳卒中教育(ISLS/PSLS)コース開催と検討 第2報 -ISLSおよびPSLSのハイブリッドコースの試み- | 中村文洋 | 救命救急センター |
| 地域救急災害医療研究 平成20年 | 臨床実習医学生を対照にした脳卒中初期診療(ISLS: Immediate stroke life support)コースの試み | 中村文洋 | 救命救急センター |
| Acta Neurochirurgica [Suppl]平成20年 | Hyperbaric oxygen therapy for consciousness disturbance following head injury in subacute phase. | Takehiro Nakamura | 救命救急センター |
| Acta Neurochirurgica [Suppl]平成20年 | Cerebral oxygen metabolism monitoring during hypothermia following resuscitation from cardiopulmonary arrest | Takehiro Nakamura | 救命救急センター |
| Acta Neurochirurgica [Suppl]平成20年 | Radial glia marker expression following experimental intracerebral hemorrhage. | Takehiro Nakamura | 救命救急センター |
| Stroke平成21年1月 | Impact of the approval of intravenous recombinant tissue plasminogen activator therapy on the processes of acute stroke management in Japan. The stroke unit multicenter observational (SUMO) study. | Shoichiro Sato | 救命救急センター |

12ページ
計7件
合計117件

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

| | | | |
|---------|-----------|----------------|--|
| 管理責任者氏名 | 病院長 石田 俊彦 | | |
| 管理担当者氏名 | 総務課長 林 勝幸 | 患者サービス課長 中島 一浩 | |
| | 薬剤部長 芳地 一 | 放射線部長 西山 佳宏 | |

| | | 保管場所 | 分類方法 | |
|--|---|---|---|--|
| 診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書 | | 医学部患者サービス課(病歴室) 薬剤部 放射線部 検査部 病理部 医療情報部 | 診療録及び診療諸記録を電子媒体にて保存管理している。紙媒体のものについては、外来・入院別に1患者1ファイル方式とし、エックス線写真は1患者1ファイル方式で共に永久保存を原則として、コンピューターによる集中管理を行っている。 | |
| 病院の管理及び運営に関する諸記録 | 従業者数を明らかにする帳簿 | 医学部総務課 | | |
| | 高度の医療の提供の実績 | 医学部患者サービス課 | | |
| | 高度の医療技術の開発及び評価の実績 | 医学部総務課 | | |
| | 高度の医療の研修の実績 | 医学部総務課 | | |
| | 閲覧実績 | 医学部患者サービス課 | | |
| | 紹介患者に対する医療提供の実績 | 医学部患者サービス課 | | |
| | 入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿 | 医学部患者サービス課及び薬剤部 | | |
| | 確規 保則 の第 状9 況条 の 2 3 及び 第 1 条 の 1 1 各 号 に 掲 げ る 体 制 | 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況 | 安全管理室 | |
| | | 専任の院内感染対策を行う者の配置状況 | 感染対策室 | |
| | | 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況 | 安全管理室 | |
| | 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況 | 医学部患者サービス課 地域連携室 安全管理室 | | |
| | 医療に係る安全管理のための指針の整備状況 | 安全管理室 | | |
| | 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況 | 安全管理室 | | |
| | 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況 | 安全管理室 | | |
| | 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況 | 医学部患者サービス課 安全管理室 | | |

| | | 保管場所 | 分類方法 |
|-----------------|---|---|----------------------|
| 病院の管理及び運営に 録 | 規則 | 院内感染のための指針の策定状況 | 感染対策室 |
| | 1条 | 院内感染対策のための委員会の開催状況 | 感染対策室 |
| | 11 | 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況 | 感染対策室 |
| | 各号に掲げる体制確保の状況 | 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況 | 感染対策室 |
| | | 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況 | 安全管理室 薬剤部 |
| | | 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況 | 安全管理室 薬剤部 |
| | | 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況 | 安全管理室 薬剤部 |
| | | 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況 | 安全管理室 薬剤部 |
| | | 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況 | 安全管理室 ME 機器管理センター |
| | | 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況 | 安全管理室 ME 機器管理センター |
| | 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況 | 安全管理室 ME 機器管理センター | |
| | 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況 | 安全管理室 ME 機器管理センター | |

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

| | |
|-------------|----------------|
| 閲覧責任者氏名 | 医学部事務部長 前川 正 |
| 閲覧担当者氏名 | 患者サービス課長 中島 一浩 |
| 閲覧の求めに応じる場所 | 管理棟1階情報公開室 |

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

| | | |
|-----------|--------|-------|
| 前年度の総閲覧件数 | | 延 0 件 |
| 閲覧者別 | 医師 | 延 0 件 |
| | 歯科医師 | 延 0 件 |
| | 国 | 延 0 件 |
| | 地方公共団体 | 延 0 件 |

○ 紹介患者に対する医療提供の実績

| | | | |
|------|------------------------|---------|------------------------|
| 紹介率 | 65.9% | 算定期間 | 平成20年4月1日 ~ 平成21年3月31日 |
| 算出根拠 | A: 紹介患者の数 | 7,497人 | |
| | B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数 | 6,308人 | |
| | C: 救急用自動車によって搬入された患者の数 | 738人 | |
| | D: 初診の患者の数 | 15,768人 | |

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第13-2)

規則第9条の23及び第11条各号に掲げる体制の確保状況

| | |
|--|------------|
| ①専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況 | (有) (1名)・無 |
| ②専任の院内感染対策を行う者の配置状況 | (有) (1名)・無 |
| ③医療に係る安全管理を行う部門の設置状況 | (有) 無 |
| ・所属職員:専任(1)名 兼任(16)名 ・活動の主な内容: 病院長の下に組織横断的に院内の安全管理を担い、医療安全管理委員会において審議する事項(下記⑥)に関して、調査、資料作成等を行うとともに、審議結果等に基づく安全管理を実施する。 また、医療安全管理委員会に対して安全管理に関する提言を行う。 | |
| ④当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況 | (有) 無 |
| ⑤医療に係る安全管理のための指針の整備状況 | (有) 無 |
| ・指針の主な内容: 別紙のとおり | |
| ⑥医療に係る安全管理のための委員会の開催状況 | 年 11 回 |
| ・活動の主な内容: (1) 安全管理のための指針の整備及び情報収集に関すること。 (2) 安全管理のための医療事故等の院内報告制度の整備に関すること。 (3) 安全管理に関する教育及び研修に関すること。 (4) 医療事故の防止及び対策に関すること。 (5) 安全対策マニュアルの実施状況の検証に関すること。 (6) 医療事故発生時の対応方法の整備(事故調査を含む。)に関すること。 (7) 医事問題に係る対策に関すること。 (8) 分析されたインシデントレポートの情報を、速やかに職員に周知及び実行させること。 (9) その他医療事故を含む安全管理に関すること。 | |
| ⑦医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況 | 年 36 回 |
| ・研修の主な内容: 別紙のとおり | |
| ⑧医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況 | |
| ・医療機関内における事故報告等の整備 (有) 無 ・その他の改善のための方策の主な内容: ○提出されたインシデントのレポートを週に一回審議し、対応策を検討する。内容によってはGRMが現場に出向き、対応指導を行う。 ○安全管理室員会議においてインシデントの集計、分析、再発防止策を検討し安全管理委員会に報告する。 ○リスクマネージャー会議において安全管理委員会及び安全管理室が講じた対策等の情報を各現場に浸透させる。 | |

安全管理のための基本方針

本院は、患者様が安心して医療を受けられる環境を整え、各医療現場において安全
確実な医療を実践・教育する。

医療事故の絶無を期して、現場における責任体制を明確にし、医療事故防止のため
の安全管理体制を病院全体で取り組み確立する。

1 安全管理のための委員会

安全管理及び医療事故の防止・対策について審議するため、医療安全管理委員会を置く。

2 安全管理室

医療安全管理委員会が講じた安全対策をリスクマネジャーを通じて速やかに実践徹底させると
共に、医療安全管理委員会に安全対策を提言する。

3 専任リスクマネジャー

本院全体の医療事故防止及び安全管理の任に当たらせるため、安全管理室に専任リスクマネジ
ャーを置く。

4 リスクマネジャー

医療安全管理委員会及び安全管理室が講じた安全対策等の情報を、各医療現場に浸透させる
ため、また、各医療現場で発生した医療事故及びインシデントの報告及び医療事故防止に関する
問題点等を安全管理室及び医療安全管理委員会の審議に反映させるため、各科(部)等にリスク
マネジャーを置く。

5 安全管理のための職員教育及び研修

医療事故防止手法などの安全管理に関する教育を行うと共に、職員研修を開催する。

6 医療事故発生時の対応

医療事故に関する情報は、速やかに、病院長及び安全管理室長に連絡し、報告書を提出する。
医療安全管理委員会は報告書に基づいて、内容・実状を把握し、対応・改善を協議する。

7 安全対策マニュアル

病院関係職員の医療事故防止のため、「安全対策マニュアル」を作成し、周知徹底を図る。
なお、状況等により随時見直しを行うものとする。

8 医薬品安全管理責任者

本院全体の医薬品の安全使用の任に当たらせるため、薬剤部に医薬品安全管理責任者を置く。

9 医療機器安全管理責任者

本院全体の医療機器の安全使用の任に当たらせるため、ME機器管理センターに医療機器安全
管理責任者を置く。

10 患者相談

患者様からの医療安全管理に関する相談に対して、誠実に対応する。

11 その他

安全管理のための方策を検討し、医療事故防止に努める。

本指針は、患者様及びその家族等から閲覧の求めがあった場合には、これに応じるものとする。

平成20年度 安全管理のための職員研修実施一覧

| | 開催日 | 対象職員 | 参加人数 | 時間 | 内 容 |
|----|------------------------|----------------|------|------|--|
| 1 | 4月3日 | 新採用看護職員 | 63名 | 120分 | 講義「本院の安全管理体制と安全確認について」 講師(安全管理室 中妻専任RM) |
| 2 | 4月7日 | 新採用研修医 | 41名 | 180分 | 講義「当院の患者安全管理体制について」 講師(安全管理室 横見瀬室長) 講義「インシデントレポートの記載方法と事例分析」 講師(安全管理室 呼吸器・乳腺内分泌外科山本講師、中妻専任RM) |
| 3 | 4月9日 4月10日 4月11日 | 新採用看護職員 | 58名 | 430分 | 講義「輸液ポンプ、シリンジポンプの安全な基本操作」「インシデント事例について」 技術演習「静脈注射」 講師(テルモ(株)、教育担当看護副師) |
| 4 | 4月15日 | リスクマネジャー | 49名 | 30分 | 講義「リスクマネジャー就任時オリエンテーション」 講師(安全管理室 中妻専任RM) |
| 5 | 5月1日 | 新採用・異動看護職員 | 7名 | 30分 | 講義「医療の安全に関すること」「院内感染対策の実際」 講師(安全管理室 中妻専任RM、感染対策室 石井看護師長) |
| 6 | 5月20日 | 全職員 | 348名 | 60分 | 講義「平成19年度インシデントレポート報告、感染対策室報告」 講師(安全管理室長、専任RM、感染対策師長) |
| 7 | 5月27日 | 看護部リスク委員 | 23名 | 60分 | 講義「事例分析RCA」 講師(安全管理室 中妻専任RM) |
| 8 | 5月30日 | 看護協会ファーストレベル研修 | 60名 | 60分 | 講義「医療安全と情報」 講師(安全管理室 中妻専任RM) |
| 9 | 6月2日 | 新採用・異動看護職員 | 5名 | 60分 | 講義「医療の安全に関すること」「院内感染防止対策の実際」 講師(安全管理室 中妻専任RM、感染対策室 石井看護師長) |
| 10 | 6月4日 | 医学科学生 | 97名 | 30分 | 講義「医療安全とは、GRMの業務」 講師(安全管理室 中妻専任RM) |
| 11 | 6月17日 | 新採用者・異動者 | 35名 | 30分 | 講義「本院の安全管理体制について」 講師(安全管理室 横見瀬室長) 講義「インシデントレポート報告体制について」 講師(安全管理室 中妻専任RM) |
| 12 | 7月1日 | 新採用・異動看護職員 | 2名 | 60分 | 講義「医療の安全に関すること」「院内感染防止対策の実際」 講師(安全管理室 中妻専任RM、感染対策室 石井看護師長) |
| 13 | 7月15日 | 全職員 | 302名 | 60分 | 講義「安全管理に関連した各部署の取り組みについて」 講師(栄養管理室長) 講師(眼科診療科長) |

原義書

1

2

3

| | | | | | | | |
|----|------------------|--------|----------------|------|------|--|---|
| 14 | 安全管理研修(講義) | 8月1日 | 新採用看護職員 | 1名 | 30分 | 講義「医療の安全に関すること」「院内感染防止対策の実際」 講師(安全管理室 中妻専任RM、感染対策室 石井看護師長) | |
| 15 | 安全管理研修(講義) | 8月8日 | 香川県高等学校・看護専門学校 | 40名 | 150分 | 講義「最近の医療安全について」 講師(安全管理室 中妻専任RM) | |
| 16 | 安全管理研修(講義) | 8月18日 | 外注清掃業者 | 25名 | 20分 | 講義「病院内の安全について」 講師(安全管理室 中妻専任RM) | |
| 17 | 安全管理研修(講義) | 9月1日 | 新採用看護職員 | 1名 | 60分 | 講義「医療の安全に関すること」「院内感染防止対策の実際」 講師(安全管理室 中妻専任RM、感染対策室 石井看護師長) | |
| 18 | 安全管理研修(講義) | 9月2日 | 全職員 | 298名 | 90分 | 講義「転倒・転落事故予防の実践と教育」 講師(東京大学 武藤芳照教授) | 4 |
| 19 | 安全管理研修(第2回異動者研修) | 9月16日 | 新採用者・異動者 | 34名 | 30分 | 講義「本院の安全管理体制について」 講師(安全管理室 横見瀬室長) 講義「インシデントレポート報告体制について」 講師(安全管理室 中妻専任RM) | 5 |
| 20 | 安全管理研修(講義) | 9月16日 | 記録委員 | 21名 | 60分 | 講義「看護記録と安全管理」 講師(安全管理室 中妻専任RM) | |
| 21 | 安全管理研修(講義) | 9月19日 | 看護補助者 | 6名 | 30分 | 講義「病院内の安全について」 講師(安全管理室 中妻専任RM) | |
| 22 | 安全管理研修(講義) | 10月1日 | 中途採用者、育児休業者 | 3名 | 60分 | 講義「医療の安全に関すること」「院内感染防止対策の実際」 講師(安全管理室 中妻専任RM、感染対策室 石井看護師長) | |
| 23 | 安全管理研修(講義) | 10月7日 | 副師長候補者 | 13名 | 60分 | 講義「組織としての安全管理」 講師(安全管理室 中妻専任RM) | |
| 24 | 医療ガス安全管理研修 | 10月17日 | 全職員 | 197名 | 60分 | 講義「医療ガスの取扱いについて」 | 6 |
| | | 10月24日 | | 136名 | 60分 | 講師(医療ガス安全管理委員会) 管理施設課 | |
| 25 | 安全管理研修(講義) | 10月28日 | 全職員 | 267名 | 100分 | 輸液ポンプ、シリンジポンプ、呼吸器 講師(臨床工学技士、テルモ、IMI) | |
| 26 | 安全管理研修(講義) | 11月4日 | 新採用看護職員 | 8名 | 60分 | 講義「医療の安全に関すること」「院内感染防止対策の実際」 講師(安全管理室 中妻専任RM、感染対策室 石井看護師長) | |
| 27 | 安全管理研修(講義) | 11月18日 | 全職員 | 267名 | 70分 | 糖尿病管理 インシデント事例報告 ・新しい血糖指示・記録用紙の使い方 ・血糖関係インシデント減少に繋がる提案 講師(安全管理室 中妻専任RM 1内井町Dr) | 7 |
| 28 | 安全管理研修(講義) | 12月1日 | 新採用看護職員 | 2名 | 60分 | 講義「医療の安全に関すること」「院内感染防止対策の実際」 講師(安全管理室 中妻専任RM、感染対策室 石井看護師長) | |

| | | | | | | | |
|----|----------------------|--------|---------------------|------|-----|---|----|
| 29 | 安全管理研修（第3回 異動者研修） | 12月11日 | 新採用 者・異動 者 | 9名 | 35分 | 講義「本院の安全管理体制について」 講師（安全管理室 横見瀬室長） 講義「インシデントレポート報告体制について」 講師（安全管理室 中妻専任RM） | 8 |
| 30 | 安全管理研修（講義） | 12月16日 | 全職員 | 331名 | 60分 | 講義「各部署からの安全管理に関する報 告」 講師（周産期女性診療科 診療科長） 講師（歯・顎・口腔外科 診療科長） 講師（救命救急センター センター長） | 9 |
| 31 | 安全管理研修（講義） | 1月6日 | 中途採用 者、育児 休業者 | 2名 | 60分 | 講義「医療の安全に関すること」「院内感 染防止対策の実際」 講師（安全管理室 中妻専任RM、感染対 策室 石井看護師長） | |
| 32 | 安全管理研修（講義） | 1月20日 | 全職員 | 293名 | 60分 | 講義「各部署からの安全管理に関する報 告」 講師（形成外科・美容外科 診療科長） 講師（麻酔・ペインクリニック科 診療科長） 講師（耳鼻咽喉科・頭頸部外科 診療科 長） | 10 |
| 33 | 安全管理研修（講義） | 2月2日 | 中途採用 者 | 2名 | 60分 | 講義「医療の安全に関すること」「院内感 染防止対策の実際」 講師（安全管理室 中妻専任RM、感染対 策室 石井看護師長） | |
| 34 | 安全管理研修（講義） | 2月12日 | 全看護職 員 | 120名 | 30分 | 講義「静脈注射プログラム」 講師（安全管理室 中妻専任RM） | |
| 35 | 安全管理研修（講義） | 2月17日 | 全職員 | 252名 | 30分 | 講義「放射線に関する研修」 講師（放射線部 部長 西山 佳宏） | 11 |
| 36 | 安全管理研修（第4回 異動者研修） | 3月17日 | 新採用 者・異動 者 | 9名 | 30分 | 講義「本院の安全管理体制について」 講師（安全管理室 横見瀬室長） 講義「インシデントレポート報告体制について」 講師（安全管理室 中妻専任RM） | 12 |

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

| | |
|---|------|
| ① 院内感染対策のための指針の策定状況 | (有)無 |
| <p>・指針の主な内容：別紙のとおり</p> | |
| ② 院内感染対策のための委員会の開催状況 | 年11回 |
| <p>・活動の主な内容：</p> <p>(1) 院内感染の調査、予防及び防止に関すること。</p> <p>(2) 感染予防の実施、監視及び指導に関すること。</p> <p>(3) 感染症発生時の措置に関すること。</p> <p>(4) 院内職員の教育及び啓蒙に関すること。</p> <p>(5) 消毒剤の使用に関すること。</p> <p>(6) その他感染予防に関すること。</p> | |
| ③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況 | 年25回 |
| <p>・研修の主な内容：</p> <p>・病院感染対策について</p> | |
| ④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況 | |
| <p>・病院における発生状況の報告等の整備 (有)無</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>毎月のレポートは感染対策室員会議で検討し、検討結果を感染対策委員会に報告、必要に応じて対応を協議している。レポートの結果を職員にフィードバックしている。</p> <p>感染症発生報告の内容によってICNが現場へ出向き対応、指導を行う。必要に応じてICTが招集され対策を検討、ICN、ICD、ICTが協力して対応にあたる。適宜、病院長、感染対策委員会、各関係会議等へ報告を行う。</p> | |

【平成 19 年 7 月制定】

【平成 21 年 3 月改定】

院内感染対策のための指針

香川大学医学部附属病院は、病院の理念に基づき、感染防止および感染制御の対策に取り組むことで、患者および病院職員に安全で快適な医療環境を提供する。

そのための基本的な考え方を以下に定める。

1. 院内感染対策に関する基本的な考え方

院内感染の発生を未然に防ぎ、感染症発生時に拡大を防止するためには、その原因を速やかに特定し、早期に制圧することが重要である。そのため、院内感染防止対策を職員全員が把握し、病院の理念に則った医療が提供できるよう取り組む。

2. 院内感染対策の推進のために必要な基本方針

職員は、感染対策マニュアルに沿って、手洗いの徹底、マスク、手袋等の着用など、常に感染予防策の遵守に努める。

職員は、自らが院内感染源とならないよう、定期健康診断を受診し、健康管理に努める。感染対策マニュアルは、定期的に見直しを行い、病院職員へ周知徹底を図る。

3. 院内感染対策のための委員会等の組織に関する基本的事項

香川大学医学部附属病院感染対策委員会規定に基づき、感染対策委員会を設置し、院内感染の調査、感染予防の実施、発生時の措置等に関する審議・決定を行う。

院内感染等の発生防止に関する業務を迅速かつ機能的に実行するために感染対策室を設置する。

4. 院内感染対策のための職員研修に関する基本方針

院内感染防止対策の基本的な考え方および防止対策に対する意識の向上を図るために、全病院職員対象の研修会を年 2 回開催するほか、必要に応じて随時開催する。研修の開催結果を記録し、保存する。

5. 院内感染症の発生状況の報告に関する基本方針

耐性菌及び市中感染症等の院内発生に伴う感染拡大を防止するため、感染症発生状況を感染対策委員会及び感染対策室を通じて病院職員に定期的に通知する。また、感染症コントロールシステムにより、随時情報提供を行う。

6. 院内感染発生時の対応に関する基本方針

院内感染が発生した部署の病院職員は、直ちに感染対策室へ報告する。感染対策室は、状況および対応を病院長ならびに感染対策委員会に報告する。

感染対策室および発生部署の病院職員は、速やかに発生の原因を究明し、改善策を立案し実施する。

感染対策室は、発生状況および改善策の実施結果について感染対策委員会、電子メールおよび紙媒体を通じて全職員に速やかに周知する。

7. 患者等に対する本指針の閲覧に関する基本方針

本指針は、感染対策マニュアルおよびホームページに掲載する。

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

| | |
|---|------|
| ① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況 | (有)無 |
| ② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況 | 年32回 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容: 医薬品の安全使用を目的とし、各病棟職員または病院職員全体を対象とした研修を行っている。 | |
| ③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成 (有)無) ・ 業務の主な内容: 1) 医薬品の採用と購入、2) 医薬品の管理、3) 投薬指示と調剤、4) 患者に対する服薬指導 5) 医薬品の安全使用に係る情報の取り扱い(収集・提供)、6) 他施設との連携の各業務について適正に実施している。 | |
| ④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有)無) ・ その他の改善のための方策の主な内容: 1) 薬剤部ニュース(月1回)を全診療科に配布している。 2) 急を要する連絡は文書と院内Webで通知している。 3) 薬事委員会で院内採用薬の見直しを行っている。 4) 院内での副作用発生事例については情報を収集し、厚生労働省および当該医薬品メーカーへ報告を行っている。 5) 医薬品安全管理委員会(仮称)を設置、開催している。 | |

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

| | |
|---|------|
| ① 医療機器の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況 | (有)無 |
| ② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況 | 年18回 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容: 人工呼吸器、血液浄化装置、及び、その他の機器の安全管理に関する取扱手順などの研修 | |
| ③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の策定 (有・無) ・ 保守点検の主な内容: ME機器管理センター及び、メーカー等による6か月から2年の定期保守点検を実施している。 | |
| ④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容: 「MEセンターからのお知らせ」を通じて、院内各部署へ周知している。 K-MIND院内情報WEBにてのお知らせ、取り扱いマニュアル、添付文書などの情報開示。 | |